

press release

ジャパン・ビュートナー

描かれた日本美人

知られざる
プライベート
コレクション

Japan Beauty

enchanting *bijin-ga* paintings
treasured in a private collection



栗原玉葉《朝妻桜》 大正七(一九一八)年

まもなく開幕！

(新春イベント、美人画人気投票、講師略歴など情報を追加しました。)

会 期：平成27(2015)年

1月2日(金)～2月15日(日)

会期中無休

開館時間：9:00～17:00

※金曜日は19:00まで ※入館は閉館30分前まで

料 金：一般 1,200円 (1000円)

高・大学生 700円 (500円)

小・中学生 400円 (200円)

※()内は前売・20名以上の団体料金



- ・JR広島駅より約1km ・広島城より約400m
- ・市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白鳥線で「縮景園前」下車約20m
- ・ひろしまめいぶる～ぶバス「県立美術館前」下車

名勝「縮景園」とともに歩む アートの社
広島県立美術館
 Hiroshima Prefectural Art Museum
 〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 TEL (082)221-6246
<http://www.hpam.jp/> FAX (082)223-1444

【開会式について】

本展は正月2日の開幕となりますので、開会式は行いません。
展覧会への取材等については随時可能となっておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。
※当館発行の案内状をお持ちの方への図録贈呈については、1月3日(土)までのご来館に限らせていただきます。

【新春イベント企画】

①新春ロビーコンサート

お正月らしい音楽とともに美術鑑賞をお楽しみください。
日時:1月2日(金)、3日(土) 13:00~
場所:広島県立美術館1階ロビー
出演:2日/上田愛彦(オーボエ)、荒谷心里(ピアノ)
3日/福原一閒(篠笛)、岩村尚子(謡)、福原一閒社中

②新春ふるまい酒

新年最初のおもてなしとして、先着100名様(未成年の方、お車で越越しの方を除く)に地元の白鳥九軒町にある蓬菜鶴で人気の日本酒を振舞います。
日時:1月2日(金)、3日(土) 10:30~
場所:広島県立美術館エントランス
提供:原本店(広島市中区白鳥九軒町)
※各日先着100名

③お年玉プレゼント

本展入場先着10名様にお正月気分たっぷりの記念品をプレゼントします。
日時:1月2日(金)、3日(土) 9:00~
場所:広島県立美術館3階受付
※1月2日は10:00~

④縁起物持参割引

破魔矢・おみくじ・破魔弓等持参のお客様及びお連れ様に、とってもお得!
当日料金より200円引きでご鑑賞いただけます。
日時:1月2日(金)~5日(月) 9:00~16:30
場所:広島県立美術館1階受付
※1月2日(金)のみ18:30まで

⑤和装来館割引

新春の晴れ着姿はとっても素敵!着物で来館のお客様はとってもお得!
当日料金より200円引きでご鑑賞いただけます。
日時:1月2日(金)~2月15日(日) 9:00~16:30
場所:広島県立美術館1階受付
※金曜日は18:30まで

**お正月ならではのイベント盛りだくさん!
ぜひ、取材・広報にご協力ください。**

お隣縮景園でもお正月イベント開催します!

新春餅配り
お正月といえば!やっぱりお餅。先着順50名でご提供いたします。(なくなり次第終了)
日時:1月1日(木)~3日(土) 9:00~
場所:縮景園



※これまでの新春イベントの様子

【展覧会概要】

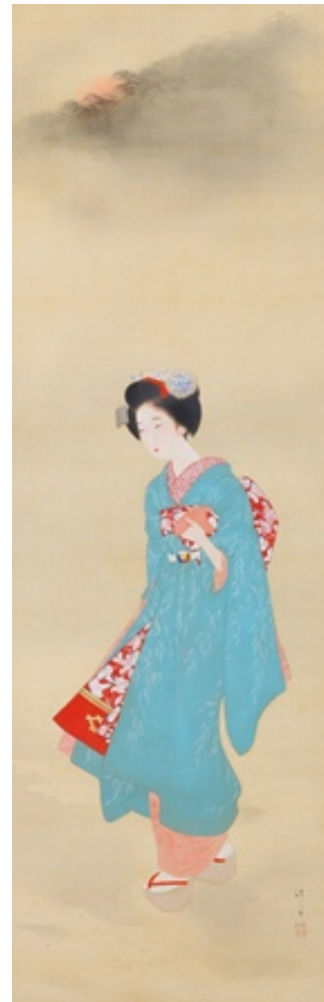
日本美術における重要なテーマである女性美は、西洋絵画の感化を受けた明治期の画壇において、その時代性や表現の革新性をも盛り込んだ「美人画」へと発展しました。

本展は、明治・大正期から昭和初期にかけて絶大な人気を博した「美人画」に注目し、その三大巨匠と謳われる上村松園、鏑木清方、伊東深水をはじめ、竹久夢二、中村大三郎、北野恒富、寺島紫明のほか、大正期に花開いたデカダンスを代表する岡本神草、甲斐庄楠音などの、妖艶優美な名作の数々を一挙公開するものです。全87点の作品により、日本の四季、風俗、歴史、文学に着想を得た女性像の表現豊かな展開と、その姿に託された理想美の在り方をご紹介します。

知られざるプライベートコレクション！ 朝比奈文庫について

このたび紹介する朝比奈文庫は、これまでまとまった形で公開されることのなかった個人コレクションです。朝比奈文庫では、浮世絵の流れを汲み、古風な江戸情緒と新時代のモダンな風俗を写す大正・昭和の美人画を中心に収集しています。

コレクションには、美人画に欠かせない日本の美しい自然、女性ならではの情念、お洒落・ファッションなどが重要な要素となり、名はあっても作品があまり公開されない画家たちの「幻の作品」や、閨秀画家(上村松園、伊藤小坡、栗原玉葉)、人気挿絵画家(竹久夢二、高島華宵)などの作品も含まれています。



鏑木清方《鴨東静夜》
昭和期



田中針水《雪庭》昭和6(1931)年

【展覧会構成と内容】

第一章 雪月花

雪月花は四季における美しい風物をあらわす語として古くから日本で愛好されています。雪月花の風情は画題としてまことにふさわしく、風景画や花鳥画はもちろん、美人画においても情緒豊かに展開されてきました。第一章では、日本古来の風雅が美人画に昇華された作品を紹介します。



上村松園 《美人観月図》 明治25(1892)年頃

第二章 四季の風情

季節のわずかな変化に心を傾け、その風趣を愛でる文化は日本特有のものであります。第二章では、一年を通して日本女性が自然と関わりあう様子を紹介します。気候や場面に適った身支度の細やかな描き分けに加えて、今日では失われつつある日本古来の美意識や生活の知恵が女性風俗として描かれているのも鑑賞のポイントのひとつです。



伊東深水《ほたる》 昭和期

第三章 心の内と外～情念と装い

社会的制約が多かった江戸時代を舞台とする物語の主人公や伝説のヒロイン、主体的な新しい女性像としてのモダンガールは、とりわけ美人画の画題として人気を博しました。また、浮世絵でも人気の高い化粧のテーマを近代の画家たちは繰り返し美人画に描いています。第三章では、心に葛藤を抱えながらも主体的に生き抜く日本女性の心に注目します。



増原宗一《いれずみ》 大正期

第四章 技芸と遊び

初々しい舞妓の姿、舞踊などの稽古事に熱心な市井の女性、すごろく・おはじき等に加えて、時代とともに広まった西洋伝来のスポーツや遊びを楽しむ女性も近代美人画に格好の題材となりました。第四章では、絵画に託された日本女性の美しさが、自分を磨き、伝統を敬い、新しい時代を前向きに生きる聡明さにあることを示します。



榎本千花俊《スキー》 昭和期



【主要作品解説】

栗原玉葉(1883-1922)

《朝妻桜》 大正7(1918)年

栗原玉葉は長崎生まれ、上京後、私立女子美術学校で教鞭を執った女性画家です。本作では、寛永の頃(1624-44)、キリスト教迫害によって処刑された吉原の遊女・朝妻を主題としています。せめて処刑は桜の開花を待って行ってほしいとの願いが許された朝妻は、満開の桜を愛でながら、散りゆく花の儚さに自らの運命を重ねたのでしょう。本作はその可憐な姿を描いて、第十二回文展の入選作となりました。長らく行方不明となっていた代表作であり、大正期の美人画を代表する名品のひとつです。



竹久夢二(1884-1934)

《宵待草》 昭和期

雑誌の挿絵などで一世を風靡した竹久夢二。本作は、手に扇をもった舞妓の楚々とした横顔を描いた、夢二らしさ溢れる小品です。その横には、自作の詩「宵待草」を添えています。「までど暮らせど 来ぬ人を 宵待草の やるせなさ 今宵は月も 出ぬさうな」と、恋に泣く女性のやるせなさを唄う詩は、おおのただすけ多忠亮による作曲を得て、大正期に大流行しました。この詩を添えた作品は珍しく、夢二の抒情的な世界観がよく表われています。



松浦舞雪(1886-没年不詳)

《桜美人》 大正期

広島に生まれた松浦舞雪は、京都市立美術工芸学校で学んだ後、大阪を拠点に活動しました。詳しい経歴はよくわかっていませんが、大正4(1915)年の第九回文展入選作《花うらない》では、枝垂れ桜を鑑賞する良家の婦女を描いています。同じく桜と女性をテーマとする本作では、桜の花びらが舞う中、摺箔を施した潇洒な着物をゆるやかに着て挑発的な視線を向ける女性を描き、優美さのうちに退廃的な雰囲気のある作品となっています。

【媒体掲載用の画像提供について】

- ※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。
- ※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。
- ※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。
- ※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

【関連イベント】

講演会(広島県立美術館友の会共催)

日時:1月12日(月・祝) 13:30~15:00 [受付開始/30分前]

演題:「近代美人画の誕生と移り変わり」

講師:菊屋吉生(本展監修者、山口大学教育学部教授)

会場:地下講堂(定員/先着200名)

※聴講無料。事前申込不要。

【講師略歴】

菊屋吉生(きくや よしお/本展監修者、山口大学教育学部教授)

昭和48年 立命館大学文学部史学科卒業。

昭和53年 山口県教育委員会文化課美術館準備室学芸員。

昭和54年 山口県立美術館学芸員。

平成 元年 第1回倫雅美術奨励賞受賞。

平成 8年 山口県立美術館普及課長。

平成 9年 山口大学教育学部助教授。

平成18年 山口大学教育学部教授

【主な著書】

『昭和の美術第1巻~第6巻』毎日新聞社、平成2~3年(共著)

『日本美術全集23巻 近代の美術Ⅲ』講談社、平成4年(共著)

『日本美術館』小学館、平成9年(共著) 他



ワークショップ「紋・アラカルト」

自分が考えた模様を型紙にし、ステンシルで旗をつくります。

(協力=泉美術館)

日時:1月17日(土) 13:30~15:00 [受付開始/30分前]

講師:松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)

会場:地下講堂(定員/先着20名、対象/小学4、5、6年生)

持参物:模様になりたい物の写真

※参加無料。事前申込必須。当館 082-221-6246(9:00~17:00)まで。

セルフフォト・ワークショップ「絵になる人！」

特注の和風衣装と金屏風を使って、美人画風に写真撮影してみましょう。

(協力=石田あさきトータルファッション専門学校)

日時:会期中

場所:3階ロビー

持参物:カメラ

※体験無料。

美術講座「美人画を楽しむ」

日時:1月25日(日) 13:30~15:00 [受付開始/30分前]

講師:隅川明宏(当館学芸員)

会場:地下講堂(定員/先着200名)

※聴講無料。事前申込不要。

press release

Japan Beauty
enchanting *bijin-ga* paintings
treasured in a private collection
知られざるプライベートコレクション
ジャパン・ビューティー
— 描かれた日本美人 —

ギャラリートーク

日時：毎週金曜日

11:00～(1月2日、1月9日、1月30日、2月13日)

17:00～(1月16日、1月23日、2月6日)

場所：3階企画展示室

※当館学芸員が展覧会をご案内します。* 要入館券。展示室入口にお集まりください。

ウェブレポーター大募集

受付日時：1月9日(金) 17:00～18:30

受付場所：3階ロビー

対象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどで、本展PRにご協力いただける一般の方。

※実施当日に限り、本展にご招待。

十二単着付ショー「日本美人にあこがれて」

日時：1月31日(土) 11:00～11:30／14:00～14:30

2月1日(日) 11:00～11:30／14:00～14:30

出演：なごみ会 場所：1階ロビー

※観覧無料。



※十二単着付ショーの様子

【特別企画！あなたはどの美人画がお好きですか？美人画人気投票】

全87作品の中から好きな美人画をお選びいただき、投票すると素敵な商品が当たるチャンスが！3階で開催中のジャパン・ビューティー展ご鑑賞のお客様限定企画です。展覧会場出口にて、あなたの好きな美人画に投票しよう！

※投票用紙は会場入口受付で配布、展覧会場出口でご投票ください。
※本企画への参加は、本展をご観覧いただいた方を対象としています。
※当選は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

広島テレビ賞／カープファン必見！DVD2本セット
広島県立美術館賞／ジャパン・ビューティー公式図録セット

5名様
5名様



※景品写真はイメージです。

【開催概要】

展覧会名称

ジャパン・ビューティー

サブタイトル

描かれた日本美人

開催クレジット

主催 広島県立美術館、広島テレビ

後援 中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FM1はつかいち76.1MHz、FM東広島89.7

協賛  広島県信用組合、イズミテクノ、JAバンク広島

企画協力 アートシステム

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. keiko_yamamoto@nomurakougei.co.jp (山本宛)

担当 学芸課 隅川明宏 事業推進課 山本恵子